

高知県研修レポート

川上 英二

県庁研修

『土佐の木材について』

○高知県は、森林面積約 60 万 ha あり森林率 84%で全国 1 位、人口林面積約 39 万 ha 人口林率 65%全国 2 位、人口林総蓄積量約 1 億 7,100 万 m³全国 2 位と森林資源に恵まれた県である。

また、土佐材（原木）に対する評価も古くから土佐は桧の産地として有名であり『土佐桧』『幡多桧』と呼ばれ現在では『四万十桧』と呼ばれている。材色は赤身を持っており脂分が多く光沢があり長期間光沢が落ちないと評価されている。

強度についても桧の E-110 と米松の E-130 が同じであり強度の強い木材と言える。

○高知県 CO2 固定量認証制度について、高知県は平成 20 年度より積極的に環境問題に取り組んでおり、高知県産材の木材利用により地球温暖化対策に貢献している。



研修を行ったオーテピアの内装にも多くの高知県の木材が使用されている。

○高知おおとよ製材所(株)

森林資源が日本一の高知県で一番大きい製材所である。

原木の調達→製材→人工乾燥→仕上加工→出荷まで工場長の宗国様よりご説明頂きました。



原木



製材



人工乾燥



乾燥させると木材の色が濃くなる



加工 木材を切る刃は撮影 NG でした



加工



日栄商事(株)に納品される桧です。



ウッドショックによりこれでも少ないそうです



他社の桧です。

日栄商事(株)の桧とは違いヤング係数がバラバラとのことでした。

今回の高知県研修を通じて、高知県・高知県おおとよ製材(株)と日栄商事(株)との強いつながりを肌で感じることができました。